



ファインスチール

Autumn 2013

秋



CONTENTS

01 特集1

塗装亜鉛系めっき鋼板／JIS規格への
クロメートフリー規定の追加について

02 特集2

塗装/亜鉛系めっき鋼板の接触腐食とその防止方法 改訂

05 ファインスチールを使った 建築設計例 307

松竹台の家

立体的ワンルームの2世帯住宅 ——

設計：A+Sa アラキ+ササキアーキテクト／ 荒木 源希 + 佐々木 高之 + 佐々木 珠穂

09 板金工事に関する用語集その25

11 建築めぐり

テーマ建築 14 丸山雅子

13 街でみかけるファインスチールの施工例 その16

一般社団法人 日本鉄鋼連盟

塗装亜鉛系めっき鋼板 / JIS規格へのクロメートフリー規定の追加について

①規格改正(追補改正)の背景

世界的な環境負荷物質削減要求が高まる中、平成19年6月、めっきJIS規格にクロメートフリー(6価クロムフリー)処理の規定が追加されました。塗装鋼板(カラー鋼板)のクロメートフリー規定については、鋼板メーカーでの長期間にわたる性能評価が必要な背景から、規格化

を見送ってききましたが、各社における研究開発が進み、需要家に提供可能な状況となったことから、めっき鋼板と同様にクロメートフリー塗装鋼板の規定を追加することになりました。

②対象のJIS規格

JIS 規格番号	名 称
JIS G 3312	塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯
JIS G 3318	塗装溶融亜鉛 -5% アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯
JIS G 3322	塗装溶融 55% アルミニウム - 亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯

③改正ポイント

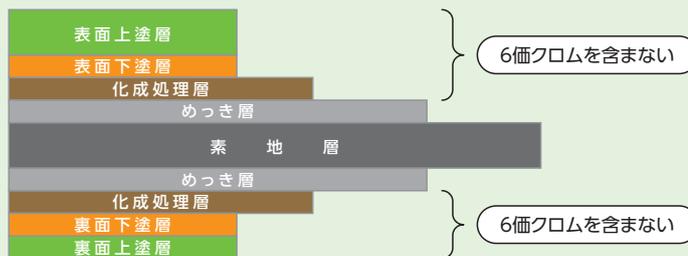
クロメートフリー塗装鋼板の規定

→ 6価クロムを含まない塗装鋼板とする

クロム酸化合物(クロメート)は、主に塗装鋼板の長期耐食性を向上させる目的で使用されますが、環境負荷物質である6価クロムが含まれております。

クロメートフリー塗装鋼板は、化成処理層、下塗層、上塗層に、6価クロムを含まない製品です。

2類, 5類 クロメートフリー塗装鋼板の構成例



クロメートフリー塗装鋼板の記号

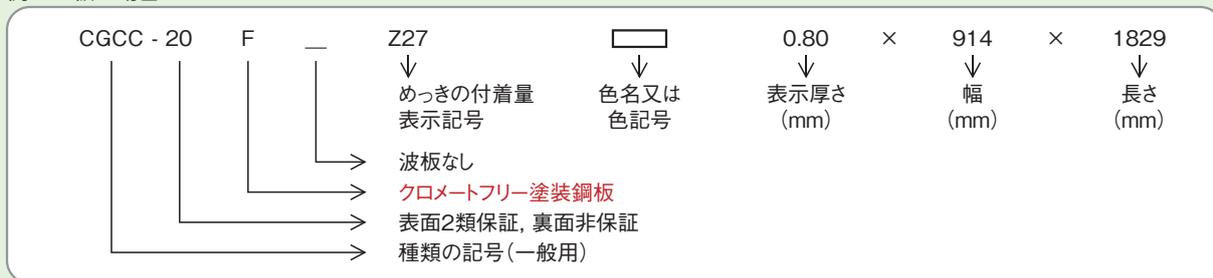
板、波板及びコイルは、クロメートフリー塗装鋼板を適用してもよいこととしました。改正前の箇条4(表面保護処理)が右表のように置き換えられました。

クロメートフリー塗装鋼板の記号

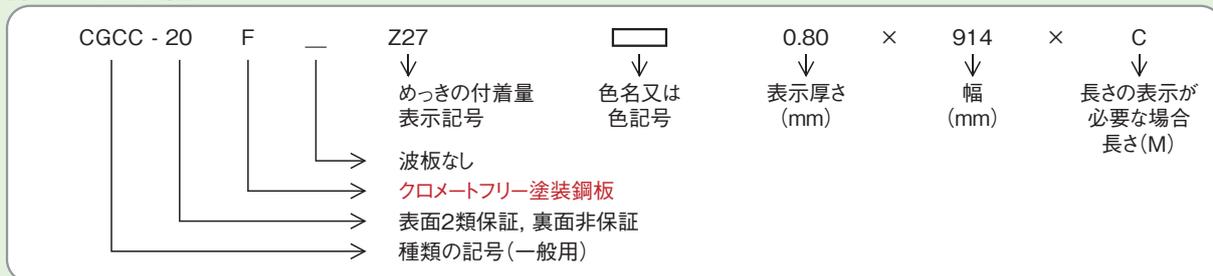
適 用	記 号
クロメートフリー塗装鋼板	F

16.1 包装表示例は、以下の通りで、詳細は、JIS規格 追補をご参照ください。

例1 板の場合



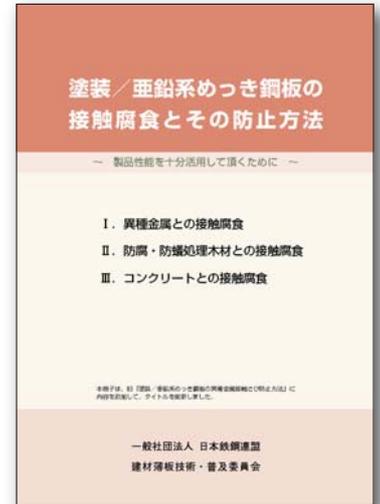
例2 コイルの場合



塗装/亜鉛系めっき鋼板の 接触腐食とその防止方法 改訂

『塗装/亜鉛系めっき鋼板の接触腐食とその防止方法』を新たに発行いたしました。本冊子は、旧「塗装/亜鉛系めっき鋼板の異種金属接触錆防止方法」で、異種金属との接触腐食と防腐・防蟻処理木材との接触腐食を紹介しておりましたが、新たにコンクリートとの接触腐食を追加いたしました。ファインスチールHPの関連刊行物に掲載しております。

<http://www.finesteel.jp/gijutsu.html>



はじめに

近年、住宅外装部材としてファインスチールを多く使用いただいております。ファインスチールとは、めっき技術、塗装技術の進歩により、性能が“飛躍的に向上した亜鉛ベースのめっき鋼板・塗装鋼板”の総称です。耐久性に優れ、軽くて地震にも強く、加工しやすいため、屋根・外壁リフォームにも適した素材です。しかしその使用方

法を誤り、本来の耐久性を得られず想定より早く腐食することがあります。本冊子ではそのような例を写真で示し、技術資料を交え、その防止方法をご紹介しますことで、皆様にファインスチールの持つ耐久性などの製品性能を十分活用して頂こうと考えております。以下に冊子記載している内容を抜粋しご紹介させていただきます。

I 異種金属との接触腐食

異種の金属間で接触がある場合、その表面が水溶液（溜まった雨水等）で濡れていると、その両者の間に電位差が生じ（腐食電池が形成され）、どちらか電気的に卑な金属の方が腐食します。この現象を異種金属接触腐食（異種金属同士の接触による電食）と言います。この現象はめっき鋼板だけでなく塗装鋼板でも発生し、よく見られる例としては銅やステンレスとの接触により

腐食し、錆や塗膜のフクレ、さらには穴あきに至るものです。めっき鋼板や塗装鋼板と異種金属材料が接触し電食が懸念される部分には、鋼板を取り付ける金具（ボルト等）周辺、屋外のドレンやダクトの周辺、雪止め周り、増築屋根や壁の継ぎ目、雨が落ちる部分（避雷針周り、上屋からの落下位置、ベランダ下の下屋 etc）等が挙げられます。

鋼板を取り付ける金具（ボルトなど）周辺（塩害地域）腐食例

[ステンレス製ボルト周りの塗装55%Al-Znめっき鋼板の腐食]

〈 全 景 〉



〈 腐 食 部 分 〉



ステンレス(SUS430)製ボルトによる
フッ素塗装55%Al-Znめっき鋼板



アルミ製ボルト（良好）

塩害地域においては、同種金属（亜鉛、アルミ）ボルトは良好であるのに対し、ステンレスボルトとの直接接触では塗膜ふくれが発生している。

異種金属接触腐食防止のために以下のような対応をお願いしております。

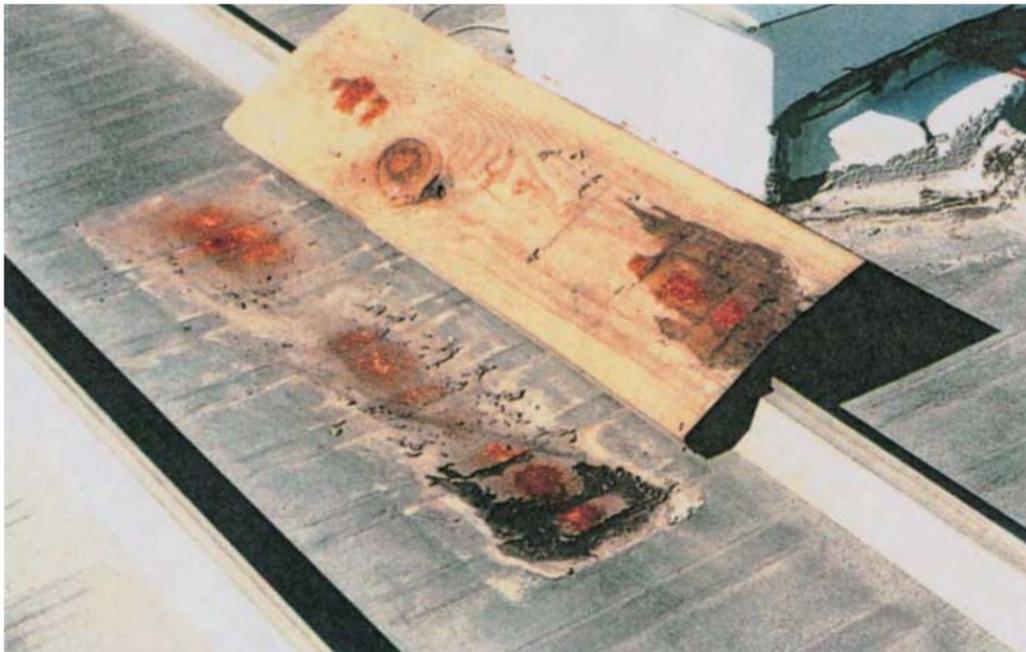
- ① めっき鋼板や塗装鋼板と銅(含む銅イオンの滴下)や鉛の直接接触の施工は避けて下さい。
- ② 金具や付属物は、ステンレス(SUS304)・アルミ製・亜鉛厚めっきの耐久処理や塗装品をご使用下さい。
- ③ 塩害地域や積雪状態でのご使用に当っては、同種金属(アルミ製・亜鉛めっき製)を使用するか、防食(シーリング処理を含む)や絶縁処理を施したステンレス製をご使用下さい。
- ④ 避雷針等での腐食が懸念される所は、絶縁テープ処理またはアルミ線のご使用をお願いします。

II 防腐・防蟻処理木材との接触腐食

木材の耐久性向上を目的に防腐・防蟻処理された木材が多く使用されるようになって来ましたが、特に銅系の薬剤で防腐防蟻処理した木材が水分を含んだ場合、銅は木材の中で銅イオン(Cu²⁺)として存在すると考えられます。そのため、めっき鋼板や塗装鋼板を防腐・防蟻処理した木材と接触して使用した場合、銅に対しイオン化傾向の卑な金属である亜鉛やアルミニウ

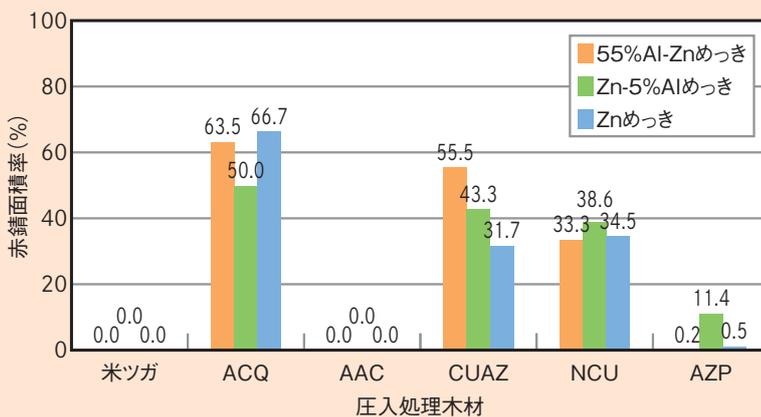
ムは溶け出し、腐食が起きます。塗膜は基本的には、水分を通すため亜鉛めっき系の塗装鋼板は亜鉛めっき系鋼板と同様の傾向を示します。

つまり、銅系の防腐防蟻処理剤が圧入された木材が水分を含むと、それと接触して使用されためっき鋼板や塗装鋼板は急激に腐食が進行していく恐れがあります。



木材接触部におけるガルバリウム鋼板製屋根面の腐食例(8年経過)

圧入処理木材と接触させためっき鋼板の赤錆面積率



圧入処理木薬剤(木材:米ツガ)	薬剤の略号
銅、アルキルアンモニウム化合物系	ACQ
アルキルアンモニウム化合物系	AAC
銅、ホウ酸、アゾール系	CUAZ
ナフテン酸銅系	NCU
シプロコナゾール・プロベンタフォス系	AZP
[クロム、銅、ヒ素化合物]	[CCA]

■ 銅を含まない圧入処理木薬剤

防腐・防蟻処理木材との接触腐食防止のために以下のような対応をお願いしております。

- 防腐防蟻処理(主として銅系の薬剤使用)した木材や合板は、めっき鋼板や塗装鋼板の耐食性に影響を及ぼしますので、直接木材又は合板に接触する部分(軒先、けらば、棟包み、雨押え、降り棟、谷部、目地など)には絶縁用下葺(ルーフィング材又はブチルテープなど)で防錆し、当該木材や合板との直接接触は避けて下さい。

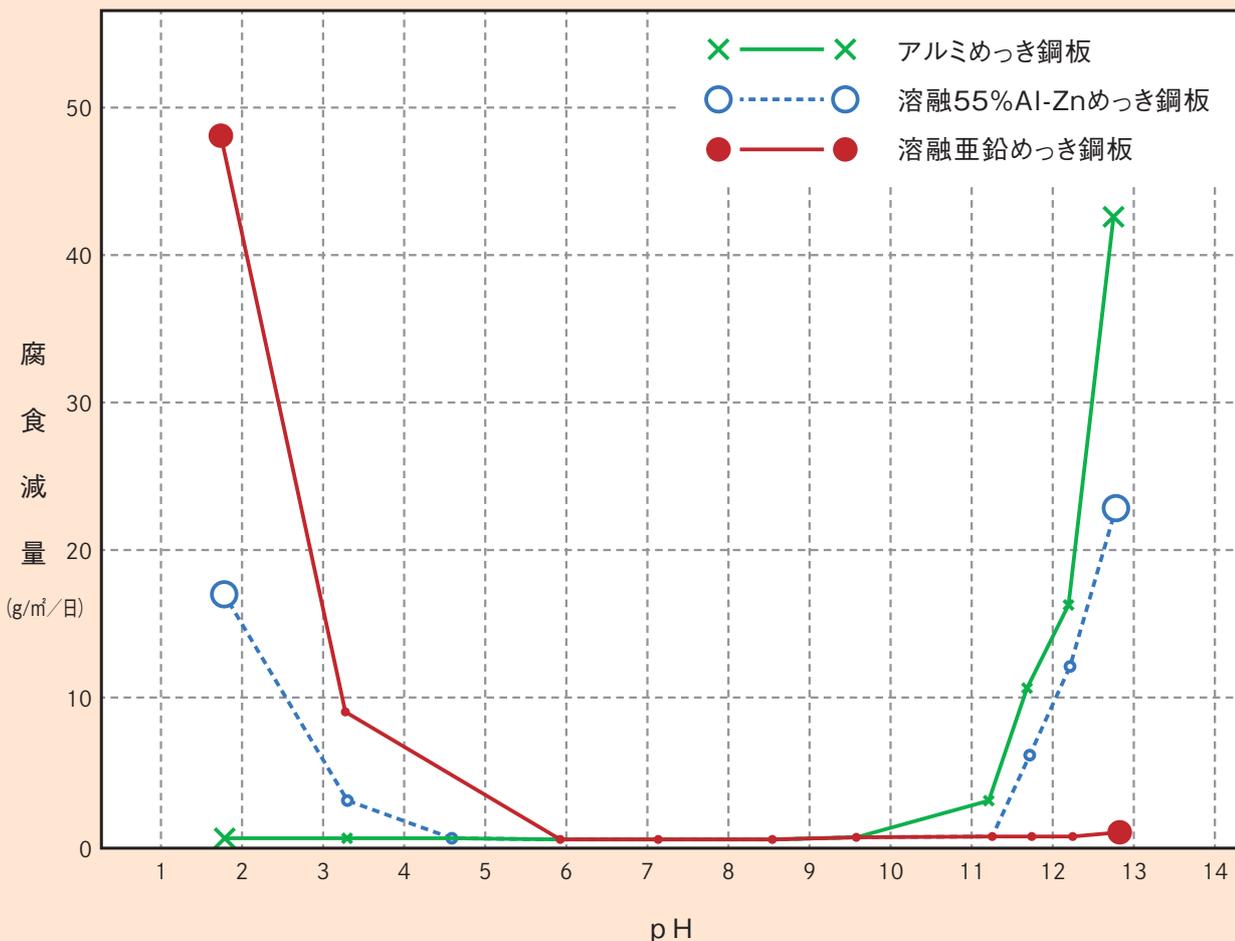
Ⅲ コンクリートとの接触腐食

コンクリートは水濡れすることで内部のアルカリ性成分(pH約12.5)が溶出し、接触しているめっき鋼板や塗装鋼板のめっき層を溶解させます。塗膜は基本的には、水分を通すため亜鉛めっき系の塗装鋼板は亜鉛めっき系鋼板と同様の傾向を示します。

液pH とめっき鋼板の腐食減量との関係より、溶解

55%Al-Zn めっき鋼板の場合、酸性側では亜鉛めっき鋼板に比べて腐食減量が少なく、優れた耐食性を示します。しかし、アルカリ性側になると腐食減量が大きくなります。このような傾向はアルミめっき鋼板の方がさらに大きく、アルミはアルカリに弱いことと合致しています。

pHとめっき鋼板の腐食減量との関係



コンクリートとの接触腐食防止のために以下のような対応をお願いしております。

- めっき鋼板や塗装鋼板は、コンクリート等のアルカリ性の素材と接触するとめっき面が変色・変質するので、コンクリートとの直接接触を避けるとともに、雨水や結露水等が進入しない構造とするなど施工時にはご注意ください。



ファインスチール
を使った
**建築
設計例**

307

松竹台の家

立体的ワンルームの2世帯住宅

設計：A+Sa アラキ+ササキアーキテクト

／ 荒木 源希 + 佐々木 高之 + 佐々木 珠穂

(撮影：廣瀬育子(C)LiVES P6の写真は、新建築社写真部撮影©)

森のそばの2世帯住宅

神奈川県横浜市、道路を挟んだ北側を森に面する南傾斜の角地に建つのが、今回紹介する松竹台の家である。施主の奥さまの実家を建て替えた同居型二世帯住宅であるが、とても仲の良いご家族だということもあって、玄関・キッチン・風呂は共有とし、また廊下などの無駄な空間は作りたくないという施主からの要望により、全体がスキップフロアでゆるやかにつながる立体的なワンルームのつくりとなっている。

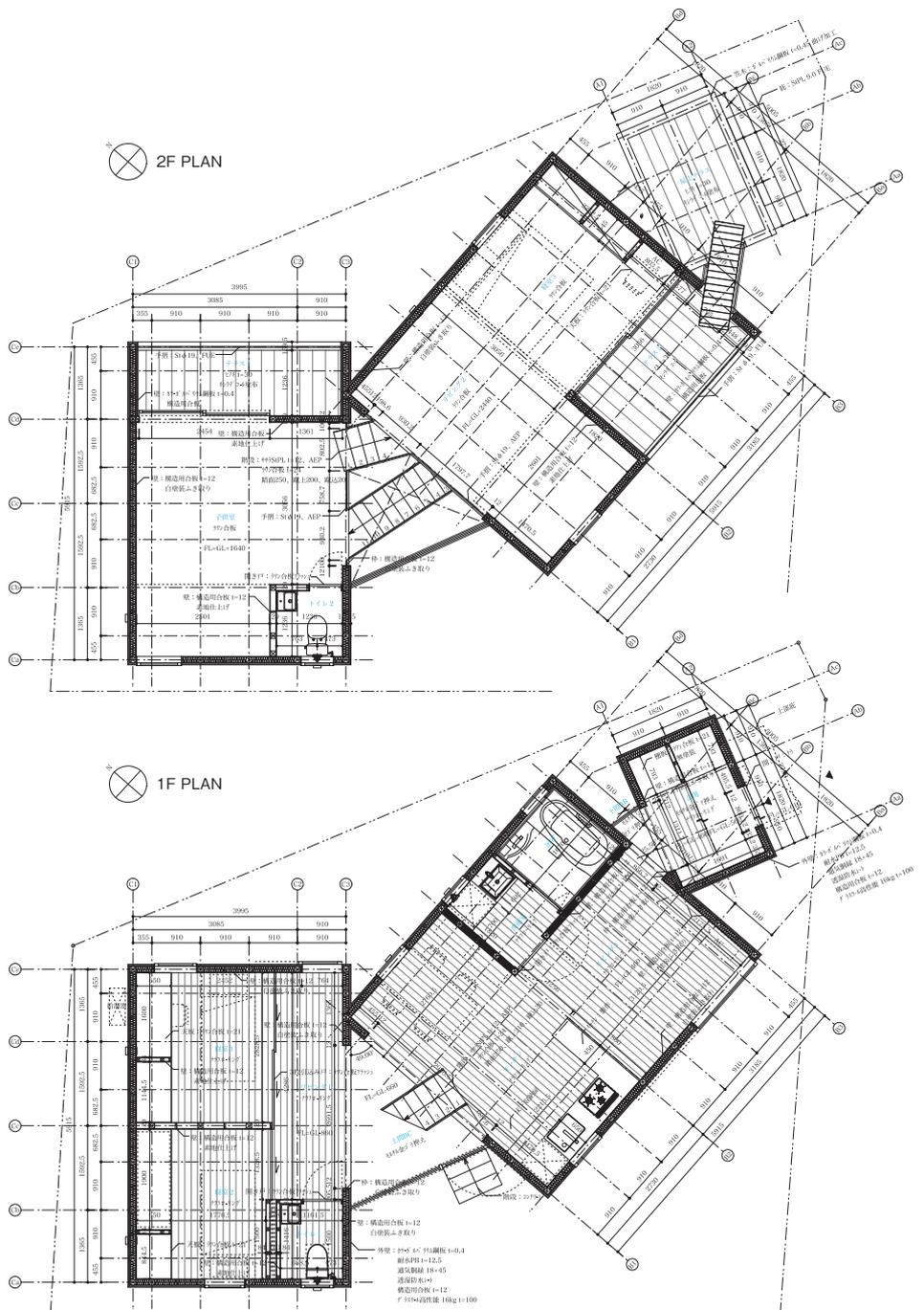
実は施主一家は、新居の計画から建替え前の単世帯住宅で仮同居をしていたという。施主の弟でもある設計者の荒木氏は、そこで二世帯6人家族の仲の良い暮らしぶりを見て、家族それぞれの居場所が適度な距離感を保ちながら一つにつながる空間がふさわしいと考えた。親世帯の寝室を1階奥にとるなど、生活時間の違いによる支障が出ないように配慮しつつ、二世帯が互いの生活を感じながら快適に生活できるようにデザインされている。

快適な3つのボリューム

全体の計画は敷地の形状に合わせて配置された3つのボリュームからなっている。もともとは1つのボリュームを2つに割ってずらすことで、採光や視界の抜けをとることを考えたのが始まりであったが、この2つのボリュームの角度と間のガラス張りの土間空間を調整することで、ひとつ屋根の下に暮らす2つの世帯の距離感を丁寧に考えることにもつながったという。横浜市の吹上地区は読んで字の如く、風が斜面の下から強く



南側外観



吹き上げることで知られているが、大きく開かれた土間空間の開口が吹上の風を取り入れ、夏場も快適に過ごすことができる。

さらに玄関はアプローチに対して正面に向く独立したボリュームにすることで、地域に開かれた表情を持たせた。玄関ボリュームの屋上はテラスとなっており、ここから玄関口とのコミュニケーションを可能にしている。行く行くはテラスのそばの木が高く生長し、このテラスが生活空間から少し離れたツリーハウスのような遊び心のある空間になることを考えているという。

2世帯の適度な距離感

この住宅にはボリューム操作の他にも2世帯の距離感を演出する様々な仕掛けが施されている。内装仕上げにおいては、外壁のガルバリウムが内側に入り込む部分をつくったり、内壁の縁を門型の白拭きとり仕上げにしたりすることで、壁の存在を意識させ、近い距離の中にもワンクッションを置くことができるのではないかと考えたという。異なる素材や仕上げを効果的に組み合わせることで、一

体空間の中でも印象に変化をもたせている。

土地の傾斜に合わせたスキップフロアのレベル差もまた、家族の多様な関係性を受容するように注意深く設定されている。土間と居室の間のレベル差によって生まれた段差は、新聞を広げて読んだり、幼い子供を抱いて腰掛けたりするお気に入りの場所になっているといい、きめ細やかなレベル設定によって家族の居場所が形成されていることがうかがわれた。

子供部屋よりリビング(子世帯)を見る



同構法で作る壁と屋根

色のイメージや金属の風合いが施主に好まれ、屋根と外壁にガルバリウム鋼板が採用された。強すぎない黒色は背景の森の緑に映えるとともに、周辺の住宅街に調和している。他の素材にないガルバリウム鋼板ならではの魅力が、外壁と屋根を同素材・同構法で作ることができる点にあると荒木氏は語る。本作品では外壁と屋根に連続性をもたせるとともに、雨樋を付けずに雨仕舞をとることに成功している。

ガルバリウム鋼板の今後について氏は、加工のバリエーションや色数など、仕上げの選択肢が増えれば可能性が広がるのではないかと話す。ガルバリウム鋼板は性能面においては遮光性・防錆などに優れた製品や断熱材が裏打ちされた製品など、選択肢が多様になってきているが、これに加えて意匠面でも個性的な趣きのある製品を安価で供給することができるようになれば、建築の表情にも幅が出てくるだろう。

また氏は、施工の手法は職人によって異なり、技術によっては美しい面に仕上がらない場合もあると述べ、美しい仕上がりには優れた職人の技術と、建築士と職人との間のコミュニケーションが不可欠であることも指摘した。

住み手がつくる住まい

施主一家は皆ものづくりに造詣が深く、内壁仕上げを構造用合板素地仕上げとしているのも、「家の至る所に自分たちの作品を気軽に飾りたい」という施主の希望を汲んでのことである。竣工から1年以上が経ち、室内の壁は子どもたちの書いた絵や親世帯の奥さまのキルティングの作品でにぎやかに飾られている。

荒木氏は家具も既製品を入れる

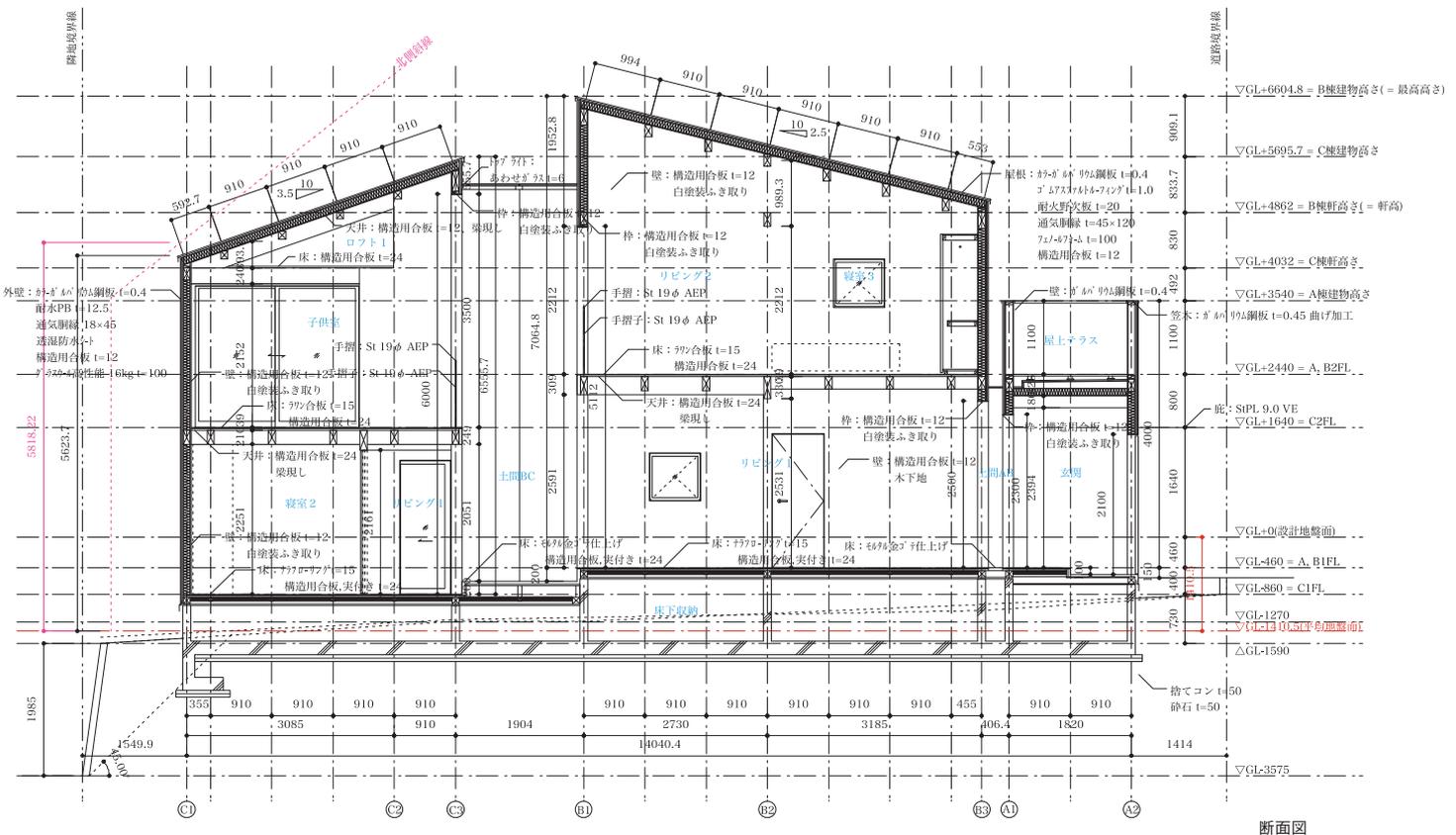
のではなく、家に合わせてふさわしいものを自分で作りたいと考え、玄関の靴箱やリビングの本棚を備え付けた。施主一家も好きなところに自分で棚を増設するなど、

のびのびと住みこなしている。施主一家の創意あふれる生活を享受するようにおおらかに設計された住宅は、住み手が手を加えることで初めて完成する家であると

いえるのではないだろうか。今後も住み手の自由で積極的な関わりによって様々に姿を変え、より一層幸せな2世帯住宅となっていくだろう。



ダイニング(共用)より寝室(親世帯)を見る。



断面図

設計：A+Sa アラキ+ササキアーキテツツ／荒木 源希 + 佐々木 高之 + 佐々木 珠穂 + 岸田 佳晃(元所員)

株式会社 アラキ+ササキアーキテツツ／〒181-0001 東京都三鷹市井の頭2-1-12

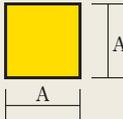
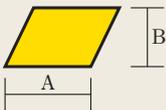
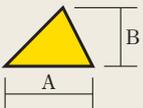
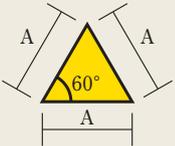
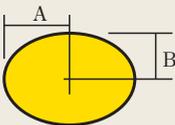
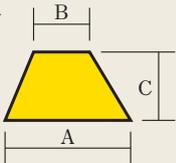
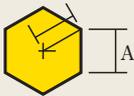
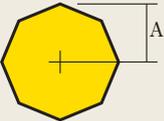
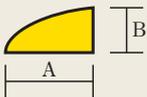
[tel/fax] 0422-43-9890 [e-mail] arakisasaki@mbe.nifty.com [URL] http://arakisasaki.com

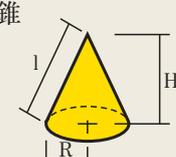
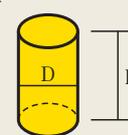
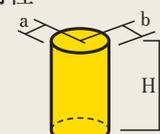
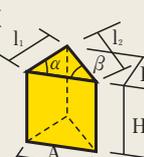
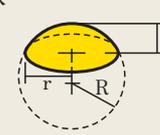
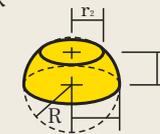
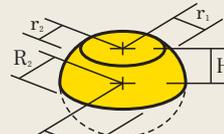
レポーター：東京大学 大月研究室 田畑 耕太郎(M1) 久寿米木 真子(M1)

① 表面積の計算 [ひょうめんせきのけいさん]

最近ドーム形の屋根や、シリンダー形（かまぼこ形ともいわれます）の屋根が多くなったようです。ところがこれらの屋根や壁の表面積を正確に算出することは意外に厄介です。そこで以下に色々な形の表面積の計算式をまとめてみました。実際の業務で役立てば幸甚です。

各種形状の表面積計算式

名称及び形状	面積の計算式	名称及び形状	面積の計算式
方形 	$S = A \cdot B$	円 	$S = \pi \cdot R^2 = \frac{\pi}{4} \cdot D^2$ $\pi \doteq 3.1415926535897932384626$
正方形 	$S = A^2$	環 	$S = \frac{\pi}{4} \cdot (D^2 - d^2)$
平行四辺形 	$S = A \cdot B$	欠円 	$S = \frac{2}{3} \cdot A \cdot H$ $H = R \cdot (1 - \cos \frac{\alpha}{2})$
三角形 	$S = \frac{A \cdot B}{2}$	欠環 	$S = \frac{\alpha \cdot \pi}{360} \cdot (R^2 - r^2)$
正三角形 	$S = \frac{\sqrt{3}}{4} \cdot A^2$	楕円 	$S = A \cdot B \cdot \pi$
台形 	$S = \frac{A + B}{2} \cdot C$	正六角形 	$S = \frac{3 \cdot \sqrt{3}}{2} \cdot A^2$
正八角形 	$S = 2 \cdot \sqrt{2} \cdot A^2$	半放物線形 	$S = \frac{2}{3} \cdot A \cdot B$

名称及び形状	面積の計算式	名称及び形状	面積の計算式
球 	$S = 4 \cdot \pi \cdot R^2$ $= \pi \cdot D^2$	正八角柱 	$S = 6.122935 \cdot A \cdot H$ * 上下面は含まず
方柱 	$S = 2 \cdot (A + B) \cdot H$ * 上下面は含まず	円錐 	$S = \pi \cdot R \cdot l$ $l = \sqrt{R^2 + H^2}$ * 下面は含まず
正円柱 	$S = \pi \cdot D \cdot H$ * 上下面は含まず	円錐台 	$S = (R + r) \cdot \pi \cdot l$ $l = \sqrt{(R + r)^2 + H^2}$ * 上下面は含まず
楕円柱 	$S \doteq \left(\frac{a + b}{2}\right)^2 \cdot \pi \cdot H$ ¹⁾ * 上下面は含まず	正三角錐 	$S = \frac{3}{2} \cdot A \cdot l$ $l = \sqrt{\frac{A^2}{12} + H^2}$ * 下面は含まず
三角柱 	$S = (A + l_1 + l_2) \cdot H$ $l_1 = \frac{B}{\sin \alpha} \cdot l_2 = \frac{B}{\sin \beta}$ * 上下面は含まず	正四角錐 	$S = 2 \cdot A \cdot l$ $l = \sqrt{\frac{A^2}{4} + H^2}$ * 下面は含まず
正六角柱 	$S = 6 \cdot A \cdot H$ * 上下面は含まず	欠球 	$S = \pi \cdot (r^2 + H^2)$ $= 2 \cdot \pi \cdot R \cdot H$ * 下面は含まず
放物線形 	$S = \frac{2}{3} \cdot A \cdot B$	環球 	$S = 2 \cdot \pi \cdot R \cdot H$ * 上下面は含まず
名称及び形状	面積の計算式	備考	
楕円欠球 	$S = \pi \cdot \left\{ \left(\frac{r_1 + r_2}{2} \right)^2 + H^2 \right\}$ * 下面は含まず	<p>1) 楕円の円周は、正確には以下による。</p> $\text{円周 } L = 4 \cdot a \cdot E \left(\frac{\pi}{2} \cdot E \right)$ <p>ここに E : 第 2 種完全楕円積分</p> $E = \frac{\pi}{2} \left\{ 1 - \left(\frac{1}{2} \right)^2 \cdot \frac{K^2}{1} - \left(\frac{1 \cdot 3}{2 \cdot 4} \right)^2 \cdot \frac{K^4}{3} - \left(\frac{1 \cdot 3 \cdot 5}{2 \cdot 4 \cdot 6} \right)^2 \cdot \frac{K^6}{5} - \left(\frac{1 \cdot 3 \cdot 5 \cdot 7}{2 \cdot 4 \cdot 6 \cdot 8} \right)^2 \cdot \frac{K^8}{7} - \dots \right\}$ <p>なお計算は非常に複雑になるので、楕円柱及び楕円環球は略算式とした。</p>	
楕円環球 	$S \doteq \pi \cdot \left\{ \left(\frac{R_1 + R_2}{2} \right)^2 + \left(\frac{R_1 + R_2}{2} \right) \cdot H + \left(\frac{r_1 + r_2}{2} \right)^2 \right\} - \pi (R_1 \cdot R_2 + r_1 \cdot r_2)$ * 上下面は含まず		

テーマ建築 14

文化財ウエディング

工学院大学建築学部
藤森研究室

担当 丸山 もとこ 雅子

歴史的建造物や庭園で挙式や披露宴を行う“文化財ウエディング”が今ブームだという。

日本ではバブル期にはハデ婚が、バブル崩壊後にはジミ婚が話題となった。そして『ゼクシィ』（リクルート社、1993年創刊）に代表される専門情報誌の登場とネットの普及によってありとあらゆる選択肢がユーザーに提示された現在は、オリジナルウエディングが主流だという。オリジナルウエディングとは、従来のホテルや式場のパッケージプランによらない、新郎新婦が自分たちの婚礼をどうしたいか考え、二人らしさを大事にした婚礼のことである。その一つの形として、レストランや建物を丸ごと貸切って行うレストランウエディングやハウスウエディングが、主にウエディングプロデュース会社の手によって90年代後半から全国に広まり、今は歴史的建造物や庭園が注目されているという。



図1 芦屋モノリス(旧通信省芦屋別館、1929年竣工)
2005年2月に婚礼施設として再生された。優れた改修に与えられるBELCA賞(ロングライフビル推進協会)を受賞した。

歴史的建造物が婚礼に使用される例は古くからある。

「学士会館」(東京都千代田区、国登録)など戦前から続く倶楽部建築は言うまでもなく、戦前の旧華族や財閥家の邸宅がホテルや企業の所有となり婚礼に使用される例は珍しくない。だがブームになったのは最近のことだ。2001年に友人が「自由学園明日館」(東京都豊島区、国重文)で人前式と披露宴を行ったときには気がつかなかったのだが、今から思えば、この頃から文化財ウエディングのブームは始まっていたのだろう。



図2 フェリーチェガーデン日比谷(旧都公園資料館、1910年竣工)
2006年10月に婚礼施設として再生された。ブライダル業界の大手ワタベウエディングによる再生事例。

ブームのなかで注目される婚礼施設にはいくつかのパターンがある。一つめは、以前から婚礼を手がけていた老舗ホテル、旅館、料亭などが、ブライダル企業の助けを借りて施設を改修し再出発するケースである。例えば、業界専門紙『ブライダル産業新聞』の2006年新春特大号は、「ブライダルがホテルを救う!」と題する特集を組み、2006年4月に婚礼施設として再生された「THE FUJIYA GOHONJIN」(御本陳藤屋旅館、長野市、国登録)を大きく取り上げている。

次に、ブライダル企業が所有者と提携して歴史的建造物や庭園を婚礼に使用するケースがある。例えば横浜市が2005年度から始めた「横濱ウエディング」事業では、「外交官の家」(国重文)や「三溪園」(国名勝)などでの挙式や披露宴が可能で、複数のホテル、式場、プロデュース会社がこの事業に参加している。その他、長崎のグラバー園の「旧オルト邸」(国重文)で人前式が可能なのも、仏教教会堂の「求道会館」(東京都文京区、都指定)で仏教色を加味した人前式が可能なのもこのパターンである。

そして三つめに、ブライダル企業が歴史的建造物を取得するか長期間借り受けて、建物を改修し運営を

行うケースがある。2005年に婚礼施設としてオープンした「芦屋モノリス」(旧逋信省芦屋別館、県指定景観形成重要建造物、図1)は、その改修が高く評価され、2011年にロングライフビル推進協会から表彰された。2006年にオープンした「フェリーチェガーデン日比谷」(旧都公園資料館、都指定、図2)は、ブライダル業界大手のワタベウェディングによる運営で、同社による歴史的建造物の再生はこれが8例めだという。昨年12月にオープンした「旧ジェームス邸」(神戸市、市指定、図3)は戦前に流行したスパニッシュ様式の見本のような作品で、婚礼施設になる前までは非公開だった。平日はレストランとして営業しているので、レストランを利用して建物を鑑賞することをお勧めする。同様に戦前のスパニッシュの名作で見学が可能になったものと言えば、「小笠原伯爵邸」(東京都新宿区、都選定歴史的建造物)がある。こちらは2002年にレストランとしてオープンしたもので、レストランウェディングに対応している。

その他婚礼施設として再生されたものに、2007年「神戸迎賓館須磨離宮」(旧西尾邸、県指定)、2008年「アルモニービアン」(旧第一勧業銀行松本支店、国登録)、2009年「姫路モノリス」(旧逋信省姫路別館、市指定都市景観重要建築物)、2011年「ラ・バンク・ド・ロア」(旧露亜銀行横浜支店、市指定)、今年1月に「神戸北野迎賓館」(旧レイン邸、市認定伝統的建造物)、4月に「旧桜宮公会堂」(旧造幣寮鑄造所正面玄関、大阪市、国重文)などがある。



図3 旧ジェームス邸(1934年竣工)
2012年12月に婚礼施設としてオープンした。戦前に流行したスパニッシュ建築の見本のような作品である。平日はレストラン営業をしているので、ぜひレストランを利用して建物を鑑賞して欲しい。

そもそも文化財とブライダルは相性が良い。流行の先端として新築された施設は年とともに輝きを失うが、

文化財は価値を増す。永遠の愛を誓う場として歴史的建造物はうってつけである。東京を代表する式場の目黒雅叙園も八芳園も椿山荘もそれぞれの長い歴史を誇りとしている。ブライダル企業の中には、歴史的建造物の再生を事業の柱の一つに掲げているところもあるくらいだ。

さらに喜ばしいことに、歴史的建造物が婚礼施設に再生された多くの事例で、建物の個性を活かした改修が行われている。ブライダル産業は他のサービス業とちがってリピーターをつくるのが難しい。当然のことながら同じ新郎新婦が何度も式を挙げには来ないし、オリジナルウェディングが主流の昨今、招待客が同じ式場に戻ってくることも少ない。顧客獲得には、他とは違う個性的で魅力的な施設作りが重要である。そのため建物の特徴や歴史を尊重した再生が行われる。現役を退いた歴史的建造物の第二第三の就職先としてブライダル産業は望ましい受け皿と言えるだろう。



図4 旧両国公会堂(旧本所公会堂,1926年竣工)
関東大震災後に安田家から東京市に寄付された安田公園の中に建つ。東京で最初に完成した公会堂。婚礼施設として再生されるはずだったが、計画は頓挫した。

だが上手くいくケースばかりではない。安田庭園(都指定)に建つ旧両国公会堂(旧本所公会堂、東京都墨田区、図4)は今年10月に婚礼施設として再生されるはずだった。ところが耐震調査の結果、多額の費用が追加でかかることがわかり、計画は頓挫した。東京で最初の公会堂として完成し、かつて御茶ノ水のニコライ堂と旧両国国技館と共に大東京の三大ドームと称された地域のランドマークが、ブームの追い風の中でも再生が叶わないとは残念でならない。

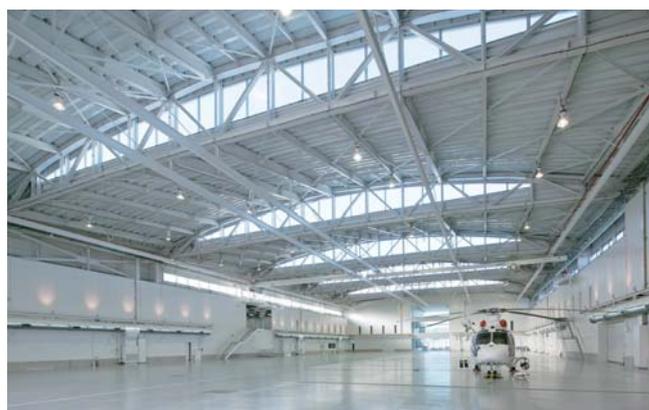
ブライダル産業は全国に存在する。地域に残る歴史的建造物とブライダル企業の幸せなマッチングが今後も続くことを願っている。

街でみかける ファインスチールの施工例 その16



ユーロコプタージャパン 神戸空港事業所

世界最大手のヘリコプターメーカー、ユーロコプター社（本社：フランス マルセイユ市）の日本支社、ユーロコプタージャパン株式会社が神戸空港島に、整備・訓練拠点となる格納庫を新設した神戸空港事業所が完成。2012年4月17日に公開された。14,380㎡の敷地に建つ延床面積8,000㎡の屋根材にガルバリウム鋼板が使用された、15人乗りの中型ヘリを25機入れることができる広大な格納庫には、訓練施設を併設し、最新型シミュレーターによる訓練が2014年より開始される。年間120機の整備と、操縦士・整備士計600人の訓練が行われる予定。会見したステファン・ジヌー社長は「ヘリを高性能にする研究開発を神戸で進め、世界に発信したい」と述べ、地元企業や大学と共同で取り組む考えを表明。大規模なヘリコプターの整備拠点が神戸空港島に開設されたことによって、神戸空港島の活性化に弾みがつくことが期待される。





2 関西国際空港 「第2ターミナルビル (LCC専用ターミナル)」

関西国際空港は 2011 年 10 月から整備を開始していた格安航空会社 (LCC) 専用ターミナル「第2ターミナルビル」を 2012 年 10 月 28 日から供用開始。同施設は「LCC ビジネスモデルに最適化した本格的な専用ターミナルビル」で、安全性・機能性・経済性の高さが特徴。延床面積は約 30,000 m²で、屋根・壁材にガルバリウム鋼板を使用した平屋の鉄骨造 (一部 2 階建) で、同空港の B 滑走路のある埋め立て部に立地。駐機場はすべて、搭乗橋は設置せず旅客は歩いて航空機まで移動する。現行のターミナルビル・鉄道駅などに隣接する商業施設とは無料連絡バスで結び、300 台収容可能な駐車場も設置している。また、ターミナル内部はシンプルな設計を徹底しながらも、自然光や LED 照明による採光とグラスウインドーや中庭などを備え、明るく開放的な空間を演出。セキュリティや運用の安全確保を確実に実施する施設として、LCC ビジネスのキモとも言える機材の高稼働を支える高い機能性を確保し、低コストオペレーションを可能にする経済性を追求したターミナルとなっている。



(写真提供: 関西国際空港株式会社)

2012年秋号より 季刊広報誌「ファインスチール」の WEBマガジンが登場しました!



長年みなさまにご愛読いただいている季刊広報誌「ファインスチール」が、WEBマガジンとして2012年秋号より登場しました。

本誌では見れなかった建物の立体イメージや、掲載しきれなかった写真もスライドとしてご覧いただけます。さらに、バックナンバーの記事もキーワード検索できるなど、WEBマガジンならではのコンテンツが盛り沢山です。ぜひ一度、ファインスチールWEBマガジンを体験してみてください。

下記URLよりアクセスできます。

<http://www.finesteeel.jp/>

ファインスチール

●外観CGイラスト



●スライド

